

「日々これ掃除」感想文

浅井 優子

この本を読んで、こんなにも人を思いやつて、自分を犠牲に出来る人がいるのだと感動しました。まず鍵山先生のご両親が、本当に素晴らしい人で、「みんなが嫌がる事を自分だけはやる」という考えは、真似をしようと思ってもなかなか出来る事ではありません。先日フエリーチエの勉強会で社長とお話させて頂き、鍵山先生は心が寛大すぎて、人が

嫌がる事もそこまでつらく感じないのかなと思っ
てしまおうと伝えると、そうではなくて、感じ方は他の人と同じで出来ればやりたくないけど、そこをどう受け止めるのか考え方が違
うと教えて頂きました。私は、すごい人だと思
うと、どうしてもこの人はレベルが違うから、こ
れは雲の上の話で、普通の人は無理だ。という風
に、棚に上げた考えをしてしまう所がある事に
気が付きました。正に根性無しで、自分には無理
と言いついて付けてあきらめ

てしまおう、RCが足りていないんだと実感しました。全て同じ人間で、鍵山先生も社長も先生も、真理さんや村尾さんも、みんな自分に厳しく、自分と戦う事でそれを乗り越えてこられた人達だと認めなければいけません。この掃除をするという、傍から見ると事業に関係のない様な事を、鍵山先生は信念を持って続けた事で、会社も人生も幸せになられていきました。『バスケット』を見た時にもありましたが、日常生活の全てが関係して

て、日々の生活を整えていく事で、人間性が磨かれ成長していく事が出来ます。

以前、銀座店で掃除について教えて頂き、自分を強くする為にかんばろうと、毎日三分掃除をする事を自分に課しました。しかし半年しか続きませんでした。私は続ける事が出来ず、すぐにあきらめてしまいました。この本に続ける為のコツが書いてありました。ただ掃除をするのではなく、どうしたらもっと効率良く掃除が出来るかというのを常に考え

改善していく事で、続ける事が出来るということでした。これが足りていなかったと気付きました。その日より実行に移しています。仕事もそうで、とても段取りが悪く、大阪店ではいつも残業をして、それでもまだ出来ていない期日に間に合わない事がありました。

村尾さんは、本当にきっちりしていて、仕事を先延ばしにせず、次々とこなしてとても段取りがいいといつも尊敬しております。これは、日々のコツコツ改善を繰り返し、効率と効果を上げていく事だと思います。掃除を通して、長年の自分の課題を克服できるように一生懸命取り組んで参ります。

今回もこの様な気づきの深い課題を与えて頂き、ありがとうございました。